

港区立港南中学校

令和元年度 授業改善推進プラン

1 区学力調査、児童・生徒の学力向上を図るための調査の結果を踏まえた課題

国語	区学力調査において、1年生は全体で4.6ポイント全国平均を上回っているが、基礎に比べると活用の問題の表現力に課題が見られる。2年生も全体では2.8ポイント全国平均を上回っているが、活用の問題に課題がある。3年生は全体で1.8ポイント全国平均を下回っている。活用の問題の思考・判断力に課題が見られる。2・3年生については、根拠を明確にして自分の考えをまとめたり、構成を工夫して文章を書いたりする活動をさらに充実させる必要がある。1年生は、書く活動だけでなく、話したり聞いたりする活動を通して表現力を身に付ける必要がある。
社会	区学力調査において、1年生は基礎の問題で全国平均より3ポイント上回り、活用の問題は全国平均より3.5ポイント上回った。2年生は基礎の問題で全国平均より6.9ポイント上回り、活用の問題は全国平均より3.4ポイント上回った。3年生は基礎の問題で全国平均より3.4ポイント上回り、活用の問題は全国平均より1.8ポイント下回った。3学年通して、基礎の問題よりも活用の問題の正答率が低く、特に2・3年生については、記述式の問題に課題が見られた。グラフや図から読み取ったものを、文章にすることが苦手な生徒が多いため、資料の読み取りや読み取ったことを表現する活動を充実させる必要がある。
数学	区学力調査において、1年生は基礎の問題で全国平均より0.8ポイント下回り、活用の問題は全国平均より3.5ポイント上回った。2年生は基礎の問題で全国平均より4.3ポイント上回り、活用の問題は全国平均より5.7ポイント上回った。3年生は基礎の問題で全国平均より2.3ポイント上回り、活用の問題は全国平均より2.3ポイント下回った。1年生は基礎的な問題、特に計算問題を中心に取り組み定着を図る必要がある。2・3年生は、記述式の問題に関して抵抗がある生徒が見られるため、与えられた条件を整理し、筋道を立てて、証明したりそれを検証したりする活動を充実させていく。また、そのことを記述して相手に伝える活動を積極的に取り組む必要がある。
理科	区学力調査において、2学年は基礎の問題で全国平均より3.9ポイント下回り、活用の問題は全国平均より5.3ポイント上回った。3学年は基礎の問題で全国平均より0.5ポイント下回り、活用の問題で4.6ポイント上回った。観点別でみると、観察・実験の技能において、2学年は全国平均より3.3ポイント、3学年は11.8ポイント下回っている。2・3学年ともに基礎の定着と技能の向上を図る必要がある。特に技能については、自ら実験の目的や方法を考え実行する力に課題があるため、主体的に観察・実験に取り組む活動をさらに充実させる必要がある。
外国語	区学力調査において、校内平均正答率を見ると、全国平均より2学年では11.1ポイント、3学年では11.2ポイントと大きく上回っている。表現力において、全国正答率よりも2学年では16.4ポイント、3学年では14.6ポイントと大きく上回っているものの課題がある。英作文を書く問題で、スペルミスや語順間違いなどをしてしまうことがある。設問に合った解答を書くことができない。話せる程には書くことができないという課題が見えた。

2 各教科の具体的な授業改善

国語	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	- 自分の考えを、根拠を明確にして書いたり、構成を工夫して書いたりする力をつける。 - 自分の考えをわかりやすく相手に伝え、相手の話の内容を的確に聞き取る力をつける。	個人の活動、グループでの活動、全体での振り返りを重ねながら、自分の書いた文章を推敲したり、書き直したりすることを繰り返す。 授業の中で計画的、継続的に話し合いの場面を作っていく。グループの人数を徐々に増やしたり、役割を決めて取り組ませたりして話し合いのスキルの定着をめざす。

社会	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	グラフや図などの資料を適切に読み取り、読み取った情報を表現する資質・能力の育成を目指す。	多くの資料を提示し、その資料から何が読み取れるのかを考える活動を取り入れる。その際、ペア活動やグループ活動を取り入れ、様々な意見が出てくるような工夫をする。また、話し合った内容を発表する時間を設け、学級全体で学習内容を共有していく。

数学	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	基礎的・基本的な問題の定着を図り、主体的で対話的な活動を取り入れ、自ら課題を見つけ解決する力を高める。	ペア活動・グループ活動等を取り入れ、与えられた課題を整理し筋道を立てて証明したり、検証したりする。また、毎回、計算ドリル演習を行い、基礎学力の定着を図る。

理科	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	区・全国平均より下回っている観察・実験の技能に関する資質・能力の育成を目指す。	観察・実験を行う際、その趣旨を教員が説明して行っているが、これでは生徒同士の主体的・対話的な深い学びに結びついていない。そこで、観察・実験の前に本時の目的や方法を話し合わせることで、観察・実験の技能向上に結びつけていきたい。

音楽	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	- 表現および鑑賞の活動を通して、音や音楽への興味関心を養う。 - 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じとり、それを表現するための基礎的な表現の技能を身に付ける。 - 多様な音楽の豊かさや美しさを味わい、主体的に鑑賞する能力を育てる。	規律ある中で楽しい授業になるように常に心掛ける。3年間を見通し、発達の段階に応じた指導法や教材を工夫していく。表現では多様な音楽活動をする中で基礎的な技能の習得をさせ、音楽表現を工夫する活動の中でその技能を生かせるようにする。日本の楽器は3年間を通して箏の学習を行う。鑑賞では、生徒が主体的に音楽を聴いて、自ら諸要素の働きを感受し、音楽の良さや美しさなどを自分の言葉で表現できるような学習形態を取り入れる。

美術	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	感性を豊かに働かせながら、主体的に思考・判断し、表現する力の育成を図る。生活を美しく豊かにする造形や美術の役割を感じ、鑑賞する力を養う。	ものづくりの楽しさを知り、より意欲的に生徒が取り組めるような授業展開を心がけていく。より取り組みやすくするために常に完成を意識した声かけ、働きかけをしていく。また、今後は鑑賞の授業にも力を入れ、友人の作品のみならず、国内外の作品にも目を向けていく情操を養う授業に取り組んでいく。

保健体育	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	新体力テストにおけるハンドボール投げ、50m走、持久走のスコアを向上させる。自分と他者の運動の課題を見つけ、改善に向けて工夫できる力。	基本的な体力づくり、補強運動を毎回の授業で行い、基礎体力の向上を目指す。また、投げ方、走り方といった動作にも着目し、正しい動作を定着させることに重点を置く。

技術・家庭	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	互いの意見交換を重ね、創意・工夫ある作品作りをさせる。	情報収集し、意見交換をする中で、正しい判断・処理を積み重ね、より良い発信ができるように声掛けをする。

外国語（英語・国際）	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	単語のスペルを正しく書く、語順を正しく書くといった言語や文化についての知識理解力	定期考査に向けた単語暗記だけでなく、単元ごとの単語小テストやスピーキングコンテストを行うなど、繰り返し確認することで長期記憶として残るように工夫する。暗記が苦手な生徒に対し、覚えるための工夫の仕方を補習などで伝えていく。

道徳	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	善悪を判断する能力(道徳的な判断力)や道徳的価値を実現しようとする意志の働き(道徳的实践意欲)、道徳的態度の育成。	人間としての生き方についての考えを深める(性教育を含む)ために、「問題解決的な学習」や「道徳的行為に関する体験的な学習」(動作・役割演技)を取り入れた指導を実践する。対立する考え方や感じ方を本音で語りあえ、交流できる話し合い活動を行う。

特別活動	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・集団や社会の一員として自ら進んで責任を果たす態度 ・互いの人格を尊重し協力する態度 ・家庭や社会における男女相互の望ましい人間関係を築く力	生徒の自己啓発能力を高めるために、判断や選択、意思決定など、生徒自らが考える機会や場面を積極的に設定し、自主的・実践的な態度を育成する指導を累積する。学校行事での交流を図り、行事を通した生徒相互の関わり合いを深める。

総合的な学習の時間	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・共生社会を生きる力 ・日本の伝統・文化を理解し、尊重する力	自然体験や社会体験、発表や討論、物作りや生産活動などの体験的な学習、問題解決的な学習を展開する。これらの取り組みを充実させるために、講演会、訪問学習、体験学習等を通して、地域の人材や施設、事業所等を有効に活用する。